

# 岡山県立図書館の中期サービス目標

## - 県民図書館振興プラン -

平成18年4月

## はじめに

新館がオープンして1年半が経過しました。年間100万人を超える入館者数や100万冊を超える個人貸出冊数に現れているように順調な滑り出しができました。

新県立図書館は、県民の皆様のニーズと時代の変化に適切に対応しながら豊かな情報生活を支援する21世紀にふさわしい施設として整備を進めてきました。30万冊の図書が開架できる大規模閲覧室、資料と職員を主題別の6部門に配置して提供する高度な調査・研究の支援、電子図書館の構築を目指すメディアセンター機能、そして何より重点を置いた図書館ネットワークとそれを活用した市町村立図書館の支援など、新しい時代に対応できる図書館機能を備えています。

しかし、こうした機能が十分発揮されるには、図書館の生命である資料・情報を十分に収集できる財政措置が不可欠です。県立図書館は、新刊図書の70%の収集を最大の目標にしています。そのため2億円を超える全国一の資料費が措置されました。このことによって、常に新しい資料や情報が御用意でき、県民の皆様の多様で高度な資料・情報ニーズへも適切に対応できています。こうしたことが、県民の皆様の県立図書館に対する期待と信頼につながり、当初の予想を大きく超える利用につながったのだと考えています。

一方、公立図書館全体としては長期化する財政難の中であえいでいます。資料費は大幅に削られ、職員数も確実に減少しています。官から民への流れは図書館界にも浸透してきており、図書館サービスの根幹である窓口業務が民間に委託される事例が相次いでいます。さらには、2003年6月の「地方自治法」の一部改正により、指定管理者制度の道が開かれ、運営費の効率化、開館時間の延長や開館日の拡大等を目的に民間企業に公立図書館の管理運営を委託するケースも少なからず出始めています。そんな中、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(2001年12月)と「文字・活字文化振興法」(2005年7月)が相次いで公布されました。どちらも公立図書館にとっては重要な法律であり、公立図書館が子どもの読書活動や文字・活字文化の振興に大きな役割を担うことが期待されています。まさに、図書館界全体が大きな転換期にさしかかっていると言えるでしょう。

岡山県立図書館は、新しい時代の図書館の在り方を「基本的性格」(「岡山県立図書館基本計画」平成11年策定)として決めました。しかし、開館後、図書館界を取り巻く新しい動きや県民の皆様からの多くのご要望をいただきました。2年目に入った今、県民の図書館としてさらに飛躍していくため、新しい課題を検討し、「基本的性格」の内容をさらに充実・強化していく必要があります。

文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(2001年7月)を定め公表しました。この望ましい基準の中で、「公立図書館は、そのサービスの水準の向上を図り、当該図書館の目的及び社会的使命を達成するため、そのサービスについて、おのおの適切な「指標」を選定するとともに、これらに係る「数値目標」を設定し、その達成に向けて計画的にこれを行うよう努めなければならない。」としています。

本計画は、「望ましい基準」に基づき、県立図書館が県内どの地域であれ、また年齢を問わず全ての方々に等しく御利用いただける開かれた県民図書館となれるよう、「県民図書館振興プラン」としておおむね5年程度の中期サービス目標と具体的方策を定めたものです。開館初年度の大きな実績を単なる初年度効果に終わらせることなく、本来の図書館サービスとして定着させられるようその実現に向けて努力していきます。

## 目次

第1章 基本的性格(目指す方向)

第2章 サービス目標及び具体的方策(重点的取り組み)

### 第1章 基本的性格(目指す方向)

県民に開かれた図書館	県民の参画でつくる、開かれた図書館とし、県民が必要とする資料・情報をすみやかに検索、利用できる機能と蔵書構成、及び豊かな読書や各種文化活動を行うことができる環境を整備する。
県域の中核となる図書館	県内の公共・大学・学校図書館等をはじめ、国立国会図書館や都道府県立図書館等との連携と協力をもとにネットワークを確立し、その中核となる。
調査・研究センターとしての図書館	高度情報化や生涯学習社会の進展にともない、県民の要求も多様化・専門化することが予想され、これら知的ニーズに応え得る調査・研究援助機能を備える。
メディアセンターとしての図書館	国内のみならず国際的視野に立った幅広い資料・情報を収集、加工し、さらに岡山情報ハイウェイ時代におけるメディアセンターとして、他の情報関連メディアの積極的な導入も図りながら、県下各界各層への多様な情報の受発信基地となる。
資料保存センターとしての図書館	県民の知的財産である資料・情報を収集・整理し、保存して後世へ継承するとともに、広域的に有効な活用を図る。

第2章 サービス目標及び具体的方策（重点的取り組み 現況値は平成17年度実績）

県民に開かれた図書館

	項目	サービス目標	具体的方策（重点的取り組み）																		
1	資料・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の直接的利用への迅速・確実な対応</li> <li>・ 児童・青少年・成人・高齢者・障害者・外国人など利用者に応じたきめ細かいサービスの展開</li> <li>・ 利用者を待つのではなく、利用者働きかけるサービスの展開</li> <li>・ 県下全域へのサービスの徹底</li> <li>・ 市町村立図書館との一層の連携・協力</li> <li>・ 図書館サービスの提供を通しての地域振興、活性化への貢献</li> </ul>	<p>利用案内、資料案内の強化 利用者、利用登録者の拡大</p> <table border="1" data-bbox="1470 359 2186 490"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>1,017千人</td> <td>毎年1,000千人以上（全国1位）</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>90千人</td> <td>180千人（2倍）</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸出・予約サービスの充実</p> <table border="1" data-bbox="1470 552 2266 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人貸出冊数</td> <td>1,074千冊</td> <td>毎年1,000千冊以上（全国1位）</td> </tr> <tr> <td>予約件数</td> <td>72千冊</td> <td>年間100千冊（全国1位）</td> </tr> </tbody> </table> <p>インターネット予約貸出し、資料相互返却システムの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット予約受付件数 現況 40千件</li> <li>・ 資料相互返却冊数 現況 28千冊</li> </ul> <p>子どもの読書活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出冊数 現況 268千冊</li> </ul> <p>障害者・高齢者サービスの強化 資料展示や文献リストによる利用の促進 デジタル情報の活用支援</p>		現況	目標（5年後）	入館者数	1,017千人	毎年1,000千人以上（全国1位）	登録者数	90千人	180千人（2倍）		現況	目標（5年後）	個人貸出冊数	1,074千冊	毎年1,000千冊以上（全国1位）	予約件数	72千冊	年間100千冊（全国1位）
	現況	目標（5年後）																			
入館者数	1,017千人	毎年1,000千人以上（全国1位）																			
登録者数	90千人	180千人（2倍）																			
	現況	目標（5年後）																			
個人貸出冊数	1,074千冊	毎年1,000千冊以上（全国1位）																			
予約件数	72千冊	年間100千冊（全国1位）																			
2	資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の高度化・多様化する資料・情報への要求を資料の選定に反映</li> <li>・ 県民の体系的学習に役立つ蔵書の構築</li> <li>・ 資料情報センターとして、市町村立図書館の要求等に十分応えられる資料整備</li> <li>・ 自治体の政策決定や行政事務、またビジネス支援に必要な資料及び情報の積極的収集</li> </ul>	<p>新刊図書70%収集の継続</p> <table border="1" data-bbox="1443 1045 2239 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新刊購入冊数</td> <td>44,560冊</td> <td>毎年44,560冊（全国1位）</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>775千冊</td> <td>1,000千冊（全国平均900千冊）</td> </tr> </tbody> </table> <p>主題別6部門の参考図書の充実 郷土資料、地方行政資料の網羅的収集 交通文化資料を重点収集</p> <table border="1" data-bbox="1937 1209 2417 1306"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通資料</td> <td>4,600冊</td> <td>6,400冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>新刊児童図書・大活字本の全点購入の継続 行政・ビジネス支援図書の充実 雑誌、新聞の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入雑誌 710誌</li> <li>・ 購入新聞 90紙</li> </ul>		現況	目標（5年後）	新刊購入冊数	44,560冊	毎年44,560冊（全国1位）	蔵書冊数	775千冊	1,000千冊（全国平均900千冊）		現況	目標（5年後）	交通資料	4,600冊	6,400冊			
	現況	目標（5年後）																			
新刊購入冊数	44,560冊	毎年44,560冊（全国1位）																			
蔵書冊数	775千冊	1,000千冊（全国平均900千冊）																			
	現況	目標（5年後）																			
交通資料	4,600冊	6,400冊																			

3	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の図書館に対する理解と関心を高め、新しい利用者の拡大を図るため積極的かつ計画的なPR活動と情報公開</li> <li>様々な分野の機関誌や広報誌への図書館の広報とそのための情報提供</li> </ul>	<p>ホームページ、メールマガジン、携帯電話サービスでのPR及び情報提供          図書館見学、職場体験学習等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バックヤードツアー（月1回）小学生の図書館見学、中学生の職場体験学習など他分野の機関誌やマスコミへの情報提供</li> <li>「岡山財界」「岡山商工会議所会報」「リビングおかやま」等          展示活動、各種イベント、チラシでの利用促進          市町村図書館等で開催される行事等との連携によるPR、登録窓口の開設</li> </ul>						
4	集会・行事活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の自主的、自発的な学習活動を援助するため、多様な学習機会や学習活動の場や設備の提供</li> </ul>	<p>多目的ホール、サークル活動室、デジタル情報シアター、メディア工房の利用促進</p> <table border="1" data-bbox="1470 527 1978 624"> <tr> <td></td> <td>現況</td> <td>目標（5年後）</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>平均 69.3%</td> <td>80%以上</td> </tr> </table> <p>充実した講演会や公開講座、上映会などの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夢づくり県立図書館読書フェスタ（「絵本講座」、「オーサービジットによる本・魅力再発見」、「社会人のための図書館ガイダンス」講演会）、一日こども図書館フェスティバル等他機関事業への積極的な参画（共催・後援）</li> </ul>		現況	目標（5年後）	稼働率	平均 69.3%	80%以上
	現況	目標（5年後）							
稼働率	平均 69.3%	80%以上							
5	開館時間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の状況や県民の多様な生活形態等に配慮し、より多くの県民が利用しやすい開館時間等の設定</li> </ul>	<p>開館時間、休館日の変更も視野に入れて検討</p>						
6	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、青少年、高齢者、障害者等多様な利用者への新しいサービスを展開していくために必要な知識・技能等を有する者のボランティアとしての参加促進</li> <li>ボランティアの活動の場が、県立図書館だけに止まらずそれぞれの地域に広がるよう留意</li> </ul>	<p>児童・障害者・情報サービス支援ボランティア参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア 現況 155名          （児童支援77名、情報支援19名、障害者支援42名、メディア工房17名）          ボランティア養成講座の実施          おはなしボランティアステップアップ講座の実施</li> </ul>						
7	予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民に支持される図書館を維持するため、一定以上の予算の確保</li> <li>県内全域サービスの充実と高いレベルのサービス提供</li> </ul>	<p>新刊図書70%、雑誌710誌、新聞90紙等の収集が可能な資料費の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料費 現況 2億3千万円（全国1位）          有料データベースの充実が可能な予算          図書館からの情報発信が可能な予算</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1992 1174 2499 1271"> <tr> <td></td> <td>現況</td> <td>目標（5年後）</td> </tr> <tr> <td>データベース</td> <td>6種類</td> <td>10種類</td> </tr> </table>		現況	目標（5年後）	データベース	6種類	10種類
	現況	目標（5年後）							
データベース	6種類	10種類							
8	指定管理者制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>県直営で管理運営          （県立図書館は、公の施設であると同時に教育機関である。教育機関は「管理者の管理の下に自らの意思をもって継続的に事業の運営を行う機関」といわれている。図書館は蔵書の構築、レファレンス、他機関との連携などで継続性、蓄積性、安定性、発展性が必要不可欠である。また、図書館活動を発展的に重ねるノウハウを職員、あるいは組織の内に蓄積できることも重要である。さらに、無料公開制が図書館サービス充実の原理と考えると「指定管理者制度」は公立図書館の目的達成に有効とはいえず、基本的になじまない。）</li> </ul>	<p>利用者へのサービス意識の徹底          職員の専門性が利用者や行政から見える高度な図書館サービスの提供          体系的な調査が可能な蔵書の構築          基幹業務におけるノウハウの蓄積</p>						
9	図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会への諮問等を通して、利用者の声を十分に反映した図書館運営</li> <li>図書館協議会の委員に地域の実情に応じ多様な人材の参画</li> </ul>							

県域の中核としての図書館

	項目	サービス目標	具体的方策（重点的取り組み）															
1	市町村立図書館の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の身近にある市町村立図書館への積極的支援</li> <li>広域化した市町村立図書館の全域サービスを資料・情報・運営面で積極的支援</li> </ul>	<p>協力貸出し、長期一括貸出しの充実</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力貸出冊数</td> <td>16千冊</td> <td>年間32千冊以上（中四国1位）</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力レファレンスの充実                      二次資料の作成・配布                      市町村立図書館全域サービスシステムの構築支援                      市町村立図書館職員への研修事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般・専門・館長研修（年間7回程度）</li> <li>市町村立図書館への巡回相談の充実</li> <li>全市町村へ年1回以上実施</li> <li>県公共図書館協議会、県図書館協会による図書館間の連携・協力の強化</li> </ul>		現況	目標（5年後）	協力貸出冊数	16千冊	年間32千冊以上（中四国1位）									
	現況	目標（5年後）																
協力貸出冊数	16千冊	年間32千冊以上（中四国1位）																
2	図書館未設置町村の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館図書室等の補完的サービスの実施</li> <li>図書館設置に関し必要な助言</li> <li>図書館未設置町村の解消</li> </ul>	<p>図書館未設置町村の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未設置町村数（現況3町村）</li> <li>配本所貸出し、へき地指定校配本、読書グループ貸出しでの支援</li> <li>町村教育委員会へ巡回相談の充実</li> </ul>															
3	学校図書館、大学図書館との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岡山県子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館の積極的支援</li> <li>専門的な資料の提供やレファレンスの高度化を図るため大学図書館との連携・協力の強化</li> </ul>	<p>協力貸出し、協力レファレンスの充実</p> <p>大学図書館との相互協力の拡充</p> <p>学校・大学図書館の職員研修の充実</p>															
4	図書館ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内公共図書館、学校図書館、大学図書館、公民館図書室などと連携をとり、県内に有機的な図書館サービスが出来るようネットワーク化の整備充実</li> <li>県内図書館の相互協力の促進に資するため、県内図書館等で構成する団体等を活用して、図書館間の連絡調整の推進</li> <li>岡山県図書館ネットワーク図（別紙）</li> </ul>	<p>図書館横断検索システム、相互貸借システムの拡充</p> <p>資料搬送システムの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>搬送頻度（現在 週1回）</li> <li>搬送先（現在 市町村立図書館、公民館図書室、大学図書館 82施設）</li> <li>18年度から高等学校30校へ搬送開始（週1回）</li> </ul> <p>高等学校図書館ネットワークシステム構築の援助</p> <p>県公共図書館協議会、県図書館協会による図書館間連絡調整の推進</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接続館（公共）</td> <td>78.3%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>（大学）</td> <td>3館</td> <td>7館</td> </tr> <tr> <td>搬送頻度</td> <td>週1回</td> <td>週2回以上</td> </tr> <tr> <td>搬送施設</td> <td>82施設</td> <td>155施設</td> </tr> </tbody> </table>		現況	目標（5年後）	接続館（公共）	78.3%	100%	（大学）	3館	7館	搬送頻度	週1回	週2回以上	搬送施設	82施設	155施設
	現況	目標（5年後）																
接続館（公共）	78.3%	100%																
（大学）	3館	7館																
搬送頻度	週1回	週2回以上																
搬送施設	82施設	155施設																
5	県外図書館との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立国会図書館や他の都道府県立図書館等とも連携し、県内の図書館に充実した支援ができる体制の整備</li> <li>中国・四国地区における公共図書館の核としての地位確立</li> </ul>	<p>国立国会図書館電子図書館システムとデジタル岡山大百科の連携・協力</p> <p>国立国会図書館総合目録システム、レファレンス協同データベースへのデータ提供</p> <p>国立国会図書館と県内図書館との窓口機能</p> <p>他県立図書館等との資料相互貸借やレファレンスでの連携</p> <p>全国公共図書館協議会を介しての調査研究活動</p>															

調査・研究センターとしての図書館

	項目	サービス目標	具体的方策（重点的取り組み）									
1	主題部門別サービス	参考資料、人文科学資料、児童資料、社会科学資料、自然科学・産業資料、郷土資料部門の6部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の多様でしかも高度化するレファレンスに十分対応できる蔵書構築とそれら資料内容への精通</li> <li>・ 県民の求める事項について、資料及び情報の提供又は紹介などを行うレファレンスサービスの充実・高度化と情報源や関係機関を紹介するレフェラルサービスの充実</li> <li>・ 県民の適正な自己判断、自己決定を援助できる資料・情報提供</li> <li>・ 自治体の政策決定や行政事務への迅速・確実な援助</li> <li>・ 県立図書館の資料・情報・職員のサポートが、県民の調査研究・生活・仕事・教養等や自治体の行政施策の企画立案に役立つことの積極的PR</li> <li>・ 利用者の潜在的ニーズの発掘</li> <li>・ 市町村立図書館からの求めに応じてレファレンスの積極的援助</li> <li>・ 他の図書館や専門機関との連携の強化</li> </ul>	各部門共通 <ul style="list-style-type: none"> <li>コレクションの充実（特に参考図書）</li> <li>資料案内、レファレンスサービスの積極的PR（サービス対象毎に）</li> <li>主題部門別ホームページでの情報提供</li> <li>利用者が求める資料に必ず出会える資料案内の実施</li> <li>レファレンスサービスの質的向上</li> <li>レファレンスデータベースの充実（仕事の結果を蓄積）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1476 513 2110 664"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レファレンス件数</td> <td>20千件</td> <td>43千件（中四国1位）</td> </tr> <tr> <td>データベース件数</td> <td>800件</td> <td>3,000件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次資料の作成・提供（例ビジネスサポート、テーマ別資料リスト、調べ方ガイドなど）</li> <li>電子メールの積極的活用</li> <li>フロアワークの展開</li> <li>主題別部門ごとにレファレンス関連リンク集の充実</li> <li>レフェラルサービスの充実（関連機関との連携・協力）</li> <li>学校（図書館）との連携によるサービスの拡充</li> <li>教師のための図書館活用研修講座等</li> <li>資料展示の充実</li> <li>職員のレファレンス技術・知識の向上と蓄積</li> <li>公開講座、セミナー等の開催</li> </ul>		現況	目標（5年後）	レファレンス件数	20千件	43千件（中四国1位）	データベース件数	800件	3,000件
	現況	目標（5年後）										
レファレンス件数	20千件	43千件（中四国1位）										
データベース件数	800件	3,000件										
	参考資料部門 新聞コーナー 対面朗読室		6部門の連携・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者へ迅速・的確なガイド</li> <li>新聞情報端末の活用促進</li> <li>利用者数 現況196人/年</li> <li>対面朗読室の利用の拡大</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1476 1306 2055 1425"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>125人/年</td> <td>年間250人以上</td> </tr> </tbody> </table>		現況	目標（5年後）	利用者数	125人/年	年間250人以上			
	現況	目標（5年後）										
利用者数	125人/年	年間250人以上										

人文科学資料部門 外国語資料コーナー		外国語資料案内で資料利用の促進 多言語資料相談員でのレファレンスサービス等の充実 ティーンズコーナー企画の中・高生への開放						
児童資料部門 児童図書研究室 おはなしのへや		県内子ども読書活動推進の要 関係機関へ読書・資料に関する情報支援 児童図書研究室の利用促進 各種イベント ・おはなし会（土・日曜日） ヨムヨムおはなしまつり、クリスマスおはなし会等						
社会科学資料部門		行政支援サービスの拡充 ・ 新着図書目録の提供、政策の企画立案に調査資料、研究室の提供等 ビジネス支援サービスの拡充 ・ 関連資料情報の収集・提供、ビジネスサポート等の作成・提供、ビジネス支援セミナーの開催、 アントレプレナー塾の開催、関連機関との連携・協力等 ・ 経済界（経済同友会、岡山商工会議所連合会、岡山県産業振興財団等）との連携事業の推進						
自然科学・産業資料部門 交通文化資料コーナー アクセスコーナー AVコーナー		交通文化資料の利用促進 AV資料の貸出拡大 ・ 1回の貸出点数の拡大 （現況2点） <table border="1" data-bbox="1832 755 2417 871"> <tr> <td></td> <td>現況</td> <td>目標（5年後）</td> </tr> <tr> <td>AV資料数</td> <td>8,000点</td> <td>15,000点</td> </tr> </table> ・ AVコーナー利用者数 現況22,800人 ・ ライブラリーシアターの開催（毎月1回） アクセスコーナーの活用援助 ・ 利用者数 現況 46,600人 ・ 情報検索支援サービス（随時） パソコン操作支援サービス等 有料データベースの充実と利用拡大 ・ 利用者数 現況 400人/年		現況	目標（5年後）	AV資料数	8,000点	15,000点
	現況	目標（5年後）						
AV資料数	8,000点	15,000点						
郷土資料部門 研究室		資料収集の強化と装備の改善 研究室の利用拡大 ・ 利用者数 現況 1,700人 実施と関連資料の収集 ・ 郷土作家展、教育資料展示会、行政資料展示会等 県内公共図書館郷土資料担当者の研修会 郷土資料の電子化						

メディアセンターとしての図書館

	項目	サービス目標	具体的方策（重点的取り組み）																		
1	デジタル岡山大百科	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民や岡山県に関心を持つすべての人々がインターネットに接続したパソコンで、岡山の姿を百科事典的に調べることができる電子図書館「デジタル岡山大百科」の構築</li> <li>岡山のデジタルアーカイブのポータルサイト化の実現</li> </ul>	<p>図書館横断検索システムへの参加館の拡大 郷土情報ネットワークのコンテンツの充実 レファレンスデータベースの充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報コンテンツ件数</td> <td>41,000件</td> <td>100,000件</td> </tr> <tr> <td>データベース件数</td> <td>800件</td> <td>3,000件</td> </tr> </tbody> </table> <p>メディア工房の利用の促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況</th> <th>目標（5年後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用率（編集加工室）</td> <td>84.8%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>（撮影室）</td> <td>46.5%</td> <td>60%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>各種講座等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ編集講座、ホームページ作成講座、香川県情報通信交流館との連携事業（チャレンジデジタルアニメ、チャレンジデジタルビデオ）、「デジタル岡山グランプリ」の開催</li> </ul>		現況	目標（5年後）	情報コンテンツ件数	41,000件	100,000件	データベース件数	800件	3,000件		現況	目標（5年後）	利用率（編集加工室）	84.8%	90%以上	（撮影室）	46.5%	60%以上
	現況	目標（5年後）																			
情報コンテンツ件数	41,000件	100,000件																			
データベース件数	800件	3,000件																			
	現況	目標（5年後）																			
利用率（編集加工室）	84.8%	90%以上																			
（撮影室）	46.5%	60%以上																			
2	デジタル情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の多様化・高度化するニーズに対応できる印刷資料と電子情報を統合させたハイブリッド図書館の実現</li> <li>電子資料の作成、収集及び提供を行うとともに外部ネットワークの情報資源へアクセスできる環境整備</li> </ul>	<p>有料データベースの提供 アクセス端末の提供と検索支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>端末数 現況 28台 情報リテラシー学習の支援 情報コンセントの提供</li> <li>情報コンセント提供数 現況 194席</li> </ul>																		
3	情報拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書、雑誌、新聞など印刷資料からデジタル情報に至るまで県民のニーズに応じてあらゆる資料・情報の迅速な提供ができる岡山の情報拠点の実現</li> </ul>	<p>資料・情報の整備充実 県内全域サービスの充実 アクセス環境の活用支援</p>																		

資料保存センターとしての図書館

	項目	サービス目標	具体的方策（重点的取り組み）
1	県立図書館資料の保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書、雑誌、新聞等は県民の貴重な文化遺産であり、遡及的活用ができるよう保存して後世へ継承</li> <li>デジタル岡山大百科で岡山県関係デジタルアーカイブの実現</li> </ul>	<p>館内用図書は原則として永年保存 郷土資料のマイクロ化、デジタル化 雑誌・新聞は保存年限を遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌 現況 購入誌数710誌、寄贈雑誌1,474誌 新聞 現況 購入紙数90紙、寄贈新聞32紙</li> </ul>
2	市町村立図書館資料の保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>自館の資料保存だけでなく市町村立図書館で利用頻度が落ちた。しかし、貴重な資料は引き受け保存</li> <li>県内公共図書館の資料保存センターとしての役割を実現</li> </ul>	<p>引受資料の1タイトル1冊は永年保存 県立図書館資料への統合整理</p>

# 図書館ネットワーク

